

## 【第1回】習志野市制施行70周年記念事業実行委員会 議事要旨

1 開催日時 令和5年5月8日(月)午後1時30分～午後14時35分

2 開催場所 習志野市庁舎3階 AB 会議室

3 出席者

【構成員】	市長【会長】	宮本 泰介	副市長	諏訪 晴信
	教育長	小熊 隆	企業管理者	市川 隆幸
	習志野市社会福祉協議会会長	高橋 勝	習志野商工会議所会頭	芦澤 直太郎
	習志野市農業委員会会長	三代川 彦博	習志野市芸術文化協会会長	中谷 時男
	習志野市スポーツ協会会長	伊藤 寛	習志野市連合町会 連絡協議会会長	鈴木 とし江
	習志野市小・中学校長会会長	蓮 一臣		
【事務局】	総務部長	遠藤 良宣	総務部次長	佐々木 博文
	総務課長	中野 幸子	総務課主任主事	林 優樹
	総務課主任主事	齋木 若菜		

4 議題

・委嘱状交付式

第1 会議の公開(非公開)

第2 会議録の作成等

第3 監事の選任

第4 審議

(1) 事業概要(案)について

(2) 記念事業実施スケジュール(案)について

(3) 令和5年度予算(案)について

(4) 記念事業について

① 企画準備委員会について

② 記念事業の実施について

第5 報告

(1) 今後の会議日程について

第6 その他(事務連絡等)

5 会議資料 別添のとおり

6 議事内容

**日程第1 会議の公開(非公開)**

会議は要綱の規定により、原則公開となっているため公開すること、ただし、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度諮ることで承認された。

**日程第2 会議録の作成等**

会議録については要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会

議内容及び発言委員名を記載した上で、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することで承認された。

### 日程第3 監事の選任

互選の方法について、三代川委員より会長一任との意見があり、承認された。

このことにより、宮本会長より高橋委員が指名され、監事に選任された。

### 日程第4 審議

#### (1) 事業概要(案)について

事務局より説明後、以下のとおり質疑応答があり、提案とおり承認された。

【事務局】 資料2「習志野市制施行70周年記念事業概要(案)」に沿って説明する。

はじめに、本市は昭和29年8月1日に千葉県下で16番目の都市として誕生し、令和6年に市制施行70周年を迎える。

この節目となる70周年を市民をはじめ、企業、各種団体と祝うとともに、これまで先人たちが築き上げてきた本市の歴史や文化を再認識し、希望ある未来へ繋ぐまちへの飛躍の年となるよう、市民、企業、各種団体及び市が一体となって、次のとおり記念事業を実施する。

- (1) あらゆる世代が積極的に参加できるもの
- (2) 人とのふれあい、心のつながりを持つことができるもの
- (3) 市の産業、歴史、文化、伝統などを踏まえたもの
- (4) まちの魅力を広く市内外に伝えるもの
- (5) 市全体が活力にみち、元気になるもの

次の「2. 実施期間」は、令和6年4月1日から令和7年3月31日(令和6年度)までとしている。

次に、「3. 記念事業の構成(案)」について説明する。

記念事業は、大きく2つの事業に区分する。

一つ目は、市が主催する「市主催事業」であり、さらに4つの事業で構成している。

その一つ目が「記念式典」である。

記念式典は、これまで習志野文化ホールで行っていたが、現在は休館中のため、別会場での実施となる。

会場については今後検討し、意見をいただくことになるが、日にちについては、令和6年10月26日(土)を予定している。

なお、前回の60周年記念式典の入場者数はスタッフを含め約1,700人であった。

これを踏まえ、事務局としては会場を幕張方面で検討をしているところではあるが、皆様の意見をいただきたい。

二つ目の「記念事業」は、新規の記念事業として各部局が各種記念事業を実施するものである。

三つ目の「冠事業」は、例年実施している市の事業に対し、「市制施行 70 周年記念」の冠名を提供し、盛り上げていくものである。

四つ目は「広報 PR 事業」として、70 周年を記念して、習志野市を全国、千葉県及び市民に向けて、更なる PR 発信をするための事業を実施する。

具体的には、キャッチフレーズ、ロゴマークの制作などを考えている。  
以上の 4 項目を「市主催事業」として実施するものである。

次に、大きな事業の 2 つ目である「市民主催事業」については、2 つの事業で構成している。

一つ目は「冠事業」として、例年実施している、団体・市民等の事業に「市制施行 70 周年記念」の冠名を提供し、盛り上げていくものである。

二つ目は「企画記念事業」として、団体・市民等が 70 周年を記念して企画・立案する行事等に対して、物品等の貸し出しをするものである。

具体的には、ナラシド♪の着ぐるみの貸し出しなどを想定している。

次に「4. 実施体系」の体制図は、市民・企業・各種団体・市職員が一体となって記念事業を実施していくとともに、実行委員会、企画準備委員会及び事務局との関係を図式化したものである。

以上が、実行委員会及び事業計画(案)についての説明である。

【 宮 本 会 長 】 これは概要の骨子内容について諮っているということでしょうか。

【 事 務 局 】 そのとおりである。

【 宮 本 会 長 】 事業体系として60周年時との違いはあるか。

【 事 務 局 】 基本的には60周年時の内容を踏襲しているが、冠事業の主催者が市と市民で混在するなど、わかりづらい部分があったため、「市主催事業」と「市民主催事業」で分けることで主催者を明確にした。

【 宮 本 会 長 】 記念式典の実施予定日は、どのように設定したのか。

【 事 務 局 】 60周年時は式典を11月1日(土)に実施している。  
今回の設定に当たっては本市及び関係団体の行事や、近隣市の式典等を勘案して決定した。  
令和6年における他市の周年の状況として、市川市が90周年、佐倉市・柏市・成田市が70周年となる。ほとんどの市が式典の日程は未定であったが、11月中に開催を予定しているようであった。

【宮本会長】 本委員会の委員が所属する団体の行事も確認はしているのか。

【事務局】 現在決定している各団体の行事においては事前に確認しており、10月26日に開催する行事はなかった。

【宮本会長】 秘書課の日程でも10月の第4土曜日は定例の行事がないことを確認している。

本委員会は令和5年度では何回を予定しているのか。

【事務局】 令和5年度は本会議を含めて3回を予定しており、8月と10月に会議を予定している。

(2) 事業概要(案)について

(3) 令和5年度予算(案)について

(4) 記念事業について

①企画準備委員会について

②記念事業の実施について

事務局より一括して説明した後、以下のとおり質疑応答があり、それぞれ提案のとおり承認された。

ただし、企画準備委員会の構成員については委員の意見を踏まえ、事務局にて再検討することとなった。

【事務局】 まず、「記念事業実施スケジュール(案)」について、資料 3「記念事業実施スケジュール(案)」に沿って説明する。

令和5年度は実行委員会は本会議を含めて3回、企画準備委員会は11回を予定している。

その他、キャッチフレーズ・ロゴマークの検討や、70周年市政功労者表彰に向けた表彰審査委員会の開催などを予定している。

記念事業については、令和6年4月から3か月ごとに、4つのステージに分けて実施していく。なお、記念事業の一つとして、タイムカプセルの開封がある。これは、50周年の時に旧庁舎側に埋めたものだが、現在は市庁舎駐車場の脇に移設している。20年後の8月に開封する旨を周知しているため、令和6年8月の開封を予定している。

以上が「記念事業実施スケジュール(案)」についての説明である。

次に、「令和5年度予算(案)」については資料4「令和5年度予算(案)」に沿って説明する。

収入は、市からの補助金として、300万円が組み入れられる。

支出は科目別に項目だてをし、適正な会計執行を図っていく。

なお、令和6年度の予算案につきましては、本年度に検討した内容を含めて、別途、承認をいただく予定である。

以上が「令和5年度予算(案)」についての説明である。

次に、「記念事業」については、2項目である。

一つ目は、「企画準備委員会について」である。

資料5「習志野市制施行70周年記念事業企画準備委員会設置要領」に沿って説明する。

企画準備委員会は、実行委員会の下部組織としての位置づけとなり、委員構成は18人以内とし、記念事業の計画案の策定などを行う機関である。

委員については、市の各部局や関係機関の若手職員から選任していきたいと考えている。

この企画準備委員会委員の人選について、事務局で対応してよろしいかお伺いしたい。

二つ目の「記念事業の実施について」は、市の関係各課より、記念事業の提案を募集し、企画準備委員会において集約、整理した上で、その後、実行委員会において、70周年記念事業を実施する具体的な項目を決定していただく手法でよろしいかお伺いしたい。

なお、前回の60周年では、ナラシド♪の作成や市歌の制作を主な記念事業として実施している。

その他の事業については、参考資料として添付している「習志野市制施行60周年記念事業概要」とおりである。

【鈴木委員】 企画準備委員会の推薦団体として、市の各部署や多数の団体が入っているが、地域の中からは選任する予定はあるか。

【事務局】 地域の意見を伺う方法として、大学生の参画を検討している。京成大久保駅近くにある「プラッツ習志野」に隣接した民間付帯施設として、住居及び店舗の複合施設「プロシード京成大久保」がある。この住居の部分は「ライトアップスタジオ」として学生向け賃貸住宅となっている。この住宅の入居条件として、地域のお祭りなどの手伝い・ボランティアに参加することとされており、参画していただきたく、今回募集を行っている。現在、応募はないが、地域の学生から意見をいただきたいと考えている。

【宮本会長】 設置要領には18名以内で構成するとなっているが、現在は16名の想定となっている。残りの2名はどうするのか。

【事務局】 協議を進めていく中で、追加の委嘱が必要になった場合に備えて18名としている。

【鈴木委員】 企画準備委員会の委員は実行委員会の委員の所属団体から推薦がされているが、習志野市連合町会連絡協議会は推薦枠がない。

2名の残りの枠があるならば、習志野市連合町会連絡協議会からの

推薦枠があってもよいのではないか。

【事務局】 企画準備委員会の委員は様々な部局から参画いただくため、委員の意見をもって地域の意見を集約していく予定であった。

【宮本会長】 現在は案の状態であるので、事務局にもう一度検討をしてもらいたいと思う。企画準備委員会の構成はどのような意図があるのか。

【事務局】 様々な分野からの意見をいただくような構成にしていたが、再度検討したいと思う。

【宮本会長】 企画準備委員会はスケジュールもタイトであり、一定の時間を拘束するものでもある。そのような中にあっても携わっていただけるのであれば、委嘱したいと考えているので、事務局でも検討してほしい。  
令和6年度の予算の金額はどの程度想定しているのか。

【事務局】 60周年時(平成26年度)の決算総額は約1,680万円であった。この時の歳入としては市の補助金その他、企業局からの協賛金、市民からの寄付があった。歳出の主なものとしては式典費用、市政功労者表彰者への記念品、市歌の作成費用がメインであった。

【宮本会長】 補助金の費用としてはいくらだったのか。

【事務局】 平成26年度は約1,500万円であり、平成25年度は300万円であった。

【宮本会長】 現在のところでは、前回と同様と考えているのか。

【事務局】 60周年時と同等規模とは考えているが、今後決定する記念事業の内容によって金額は変わるため、具体的な数字を示すのは難しいと思う。  
内容を整理した上で改めてお諮りしたいと思っている。  
また、これまで会場であった文化ホールが休館している関係から会場の検討によっては金額が上がることも想定される。

【宮本会長】 事務局の説明からすると、来年度のイメージとしては1,000万円から1,500万円ということだと思う。  
スケジュール案を見ると企画準備委員会の委員は重要になると思うので、委員構成について事務局はよく精査して検討してほしい。

【伊藤委員】 我々の所掌事務の一つとして、「市民又は他団体が実施する事業の募集及び決定に関すること」とあるが、8月又は10月の会議で募集のあった事業を決定するというのか。  
10月以降の会議がないため、その内容を確認できるタイミングがない

と思うかがか。

- 【事務局】 市の主催事業については8月までには、実行委員会に骨子案を諮りたいと考えている。  
市民の主催事業については、随時受付をしていきたいと考えている。
- 【伊藤委員】 そうすると、市民団体の事業については関わらないということか。
- 【事務局】 市民団体の事業の申し込みがあった場合は随時報告をしたい。
- 【宮本会長】 今後、企画準備委員会で検討されたことで、特に予算に関係することについては8月に途中経過の報告があり、10月の実行委員会で決定するということか。
- 【事務局】 そのとおりである。
- 【宮本会長】 予算に関係のない冠事業などは来年4月などで行われる会議でとりまとめて報告があるイメージか。
- 【事務局】 そのとおりである。それ以前に申し込みがあった場合には8月や10月の実行委員会で報告する。
- 【宮本会長】 70周年記念事業として実施したい事業がある場合はどこに申し出をすればよいか。
- 【事務局】 総務課に連絡をしてもらう形で検討している。
- 【宮本会長】 総務課から照会をするのか。
- 【事務局】 庁内は予算の関係があるので、8月頃までには集約していきたい。庁外の行事については今年度中を目途に集約していきたい。
- 【宮本会長】 関係団体は総務課に連絡すればよいか。
- 【事務局】 そのとおりである。
- 【宮本会長】 関係団体の方々が意見を出すときに方法が不明だと思うので、事務局で整理をしてほしい。
- 【高橋委員】 企画準備委員会の委員について、鈴木委員から意見があったが、農業委員会関係者も参画いただきたいかがか。

- 【三代川委員】 私たちはおそらく冠事業などの協力になると思う。
- 【高橋委員】 色々関わることがあると思うので、ぜひ参画いただきたい。
- 【事務局】 検討していきたい。
- 【鈴木委員】 市民からは花火大会の要望がある。前は市民まつり事務局で、市の補助金をもらい実施している。市としては花火大会を行う予定はあるのか。  
市民からは要望が多くあるので、意見として述べさせていただく。
- 【事務局】 現在は他の記念事業も含め、花火大会の実施についても未定である。今後、本委員会で検討をしていくこととなる。
- 【宮本会長】 実行委員会で花火大会という意見があったことを踏まえて企画準備委員会で検討してほしい。  
企画準備委員会には商工会議所や協働経済部の委員も参画しているため、意見は出てくると思っている。
- 【中谷委員】 芸術文化関係は文化ホールの問題があり、芸術文化協会の行事も影響を受けていくため、社会教育課と連携したい。
- 【三代川委員】 色々な面で協力して70周年を盛り上げていきたいと思っている。
- 【蓮委員】 小学5年生が全員参加する音楽会や市の総合体育大会に70周年の冠をつけた横断幕を掲げたり、記念Tシャツの販売などが出来るとよいと思っている。また、習志野高校を使った記念コンサートなども出来るとよい。

## 日程第5 報告

事務局より今後の日程について報告があった。

第2回 8月21日(月)午後1時30分～

第3回 10月23日(月)午後1時30分～

## 日程第6 その他

- 【伊藤委員】 式典の会場は市外になってしまうのか。
- 【事務局】 前は約1,700名の方が参加しており、今回も同等程度を想定すると市内に収容できる会場がなく、現在では幕張方面で検討している。他に案があれば意見をいただきたい。
- 【宮本会長】 先日の浦安市の式典は屋外で開催していた。イメージとしては市民まつりの中で式典を開催しているような形であった。